

最終更新日： 2026年4月16日

授業科目名 (講義題目)	イノベーション・マネジメント			開講学期	前期
				曜日時限	集中
				単位数	2
担当教員名	永田 晃也	講義コード	科目区分	対象学生	
		26176021	選択	1年生/2年生	
開講予定日	①②③8/8 ④⑤⑥8/9 ⑦⑧8/21 ⑨⑩⑪⑫8/22 ⑬⑭⑮8/23				
履修条件	特になし	キーワード	イノベーション、専有可能性問題、持続的競争優位、研究開発組織、製品開発力、イノベーション・エコシステム		
全体の教育目標	イノベーションに基づく持続的競争優位の構築に不可欠な知識を習得する。	個別の学習目業	各回の講義において取り上げるコンセプトを、具体的な事例に則して理解する。		

授業の概要	<p>イノベーションとは、新たな価値の創出をもたらす「革新」である。労働および資本ストックという生産要素の投入による成長が限界に直面している今日、持続的な成長を追求する企業にとってイノベーションへの組織的な取り組みは不可避の課題となっている。本講義では、イノベーションのマネジメントに要する基礎知識並びに問題発見・解決能力を習得することによって、成長戦略の立案に不可欠な素養を得ることを目的とする。</p> <p>イノベーションには多様な類型があるが、本講義では主として技術的イノベーション（新製品の開発および新工程の導入）を取り上げ、その発生のメカニズムをミクロな視点に立って解明するとともに、イノベーションを促進するための組織構造の特質と戦略の枠組みについて検討する。また、企業が自ら行ったイノベーションから利益を獲得するための条件と、それを規定するマクロな政策的・制度的要因について議論する。この過程で、経営学および経済学の領域において提示されてきた理論を包括的にレビューし、ケーススタディを通じて、その実践的な含意に対する理解を深める。</p>				
授業の最新情報 案内方法	・九州大学Moodle				
授業形態	・講義・演習 ・ディスカッション	使用する 教材等	・板書 ・スライド資料（電子媒体）		
授業の進め方	講義を中心とし、リーディング・アサインメントないしケース教材に関連するディスカッションを行う。また、各自イノベーションの成立要因に関する事例分析を行い、レポートにまとめて提出することとする。				

<p>教科書及び 参考図書</p>	<p>◎☑講前に受講者が入手する必要がある資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・☑ム・ケリー他「マーケティング不在のR&Dをいかに改革すべきか」DHBR,Nov,2002. (第3回講義でケース教材として使用) 税込み880円 (http://www.dhbr.net/articles/-/1080) ・☑リー・ヒューストン他「P&G: コネクト・アンド・ディベロップ戦略」DHBR,Aug,2006. (第10回目でケース教材として使用) 税込み880円(http://www.dhbr.net/articles/-/660) <p>○☑講開始後に必要となる可能性がある資料</p> <p>必読論文を配布する。</p> <p>●☑識を拓げるために読んだ方がよい資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・☑橋大学イノベーション研究センター編『イノベーション・マネジメント入門 (第2版)』、日本経済新聞社2017年 (3,600円+税) ・☑A.Burgelman, et al., Strategic Management of Technology and Innovation, McGraw-Hill, 2004. (青島矢一他訳『技術とイノベーションの戦略的マネジメント (上) (下)』翔泳社、2007年) (上・下とも8,800円+税) ・永田晃也編著『イノベーション・エコシステムの誕生』中央経済社、2022年 (3,200円+税)
<p>試験・成績 評価の方法等</p>	<p>ディスカッションへの貢献度、講義中に理解度を確認するために行う小テスト、ケース分析シートの提出状況により評価する。</p>